



社会福祉法人 新冠町社会福祉協議会

〒059-2401 新冠郡新冠町字本町42番地の2
電話(0146)47-2130番 FAX(0146)47-4230番

ひとり暮らしふれあい年越会を開催しました

令和3年12月2日、75歳以上を対象としたひとり暮らしふれあい年越会を新冠町レ・コード館で開催しました。近年の感染症により2年ぶりとなった今回は広い会場への変更、飲食禁止といった感染症対策を十分に行っての開催となりました。余興には認定こども園ド・レ・ミの年長組31名の踊りの披露やボランティアグループ「あゆみ」が考えた〇×クイズ、ビンゴ大会を行い、マスク越しではありましたが参加者66名の喜ぶ姿があり、盛況のうちに終えることが出来ました。ご協力いただきました関係者の皆様ありがとうございました。

協力団体：認定こども園ド・レ・ミ 新冠ライオンズクラブ

企画運営：新冠町社会福祉協議会 ボランティアグループ「あゆみ」



◇ も く じ ◇

- 表紙…ひとり暮らしふれあい年越会
P2～…赤い羽根共同募金の結果報告
P5…総合学習を活用した福祉学習
心配ごと面接相談所について
P6…白寿記念品の贈呈
歳末たすけあい義援金の贈呈
コカ・コーラボトリング(株)からの寄贈
P7…生活支援コーディネーター情報誌 むすび
裏表紙…令和3年度社協会費納入一覧
篤志寄付金・預託品

誰もがつながり、共に支え合い、
安心して暮らせる福祉のまち にいかっぱ

この広報誌発行経費の一部に赤い羽根共同募金があてられています

赤い羽根共同募金の結果

赤い羽根共同募金運動を令和3年10月1日から12月31日の3ヵ月間で実施しました。コロナ禍の状況が続く中ですが今年も地域住民の皆様から多くの温かいお気持ちが寄せられました。この募金は北海道共同募金会へ一度集められ、その後、各地域で計画した福祉事業へ助成されるしくみとなっています。実績については下記のとおりとなっています。ご協力いただきありがとうございました。

〇戸別募金(34自治会)

地区名	金額(円)	地区名	金額(円)	地区名	金額(円)
氷川	30,000	朝日2	15,000	大狩部2	8,000
本町	20,000	大富	10,000	共栄1・2	5,000
中之町	20,000	緑丘	10,000	共栄3	15,000
中央町	50,000	古岸	9,000	東川1	5,000
北星町	70,000	万世	15,000	東川2	2,000
東町	60,000	明和	10,000	美宇1	10,000
夕日ヶ丘	4,000	新栄1	3,500	美宇2	5,000
いこいの森	25,200	新栄2	5,000	太陽	10,000
西泊津	3,000	若園	11,500	新和	5,000
東泊津	18,000	泉	15,000	里平	3,000
高江	10,000	節婦町	40,000	合計	531,700
朝日1	6,500	大狩部1	3,000		

〇学校協力募金(3校) 新冠小学校・朝日小学校・新冠中学校



新冠中学校 募金箱受渡式の様子

〇法人募金・個人大口募金(45件)

アサヒコンサルタント(株)	久保田組(株)	北拓石材工業(株)
栗山建設(株)	さくら佐藤建設(株)	幌村建設(株)新冠出張所
(株)梶浦組	桜田自動車整備工場(有)	(有)太田コンクリートポンプ
(株)冠建	佐々木産業(株)	(有)草野住建工業
(株)創建	杉田産業(有)	(有)更生水産店
(株)新興電気	大協産業(株)	(有)ゴトー塗装設備
(株)新道	南大和建設(有)	(有)坂森建設設備
(株)長嶺設備工業	東成工業(有)	(有)斎藤建設
(株)名須川工業	道路建設(株)新冠工務事務所	(有)新冠中央運輸
(株)錦戸電気新冠営業所	名須川建材(有)	(有)新冠塗工舎
(株)ハタナカ昭和	名須川林業(有)	(有)畠山設備
(株)松浦牧場	新冠タイヤ	(有)丸勝西村金物店
(株)丸本建設工業	日胆油機(有)	ユニオン工業(株)
金平組(有)	太陽の森ティマシオ美術館	小松恭子様
ケイセイマサキ建設(株)	東出電設工業(株)	杉山俊彦様

令和3年度募金実績

1,110,529円

〇店頭募金(18箇所)

伊藤商会新冠給油所
伊藤商会新冠給油所
岩倉商事(株)新冠営業所
上垣石油店
サポートセンター「えましあ」
中山石油(株)
ひだか漁業協同組合新冠支所
ふくろう会おうるの郷
新冠温泉レ・コードの湯
Niikappu sweets marche みると
新冠町国民健康保険診療所
新冠町町民センター
新冠町農協給油所
新冠町レ・コード館
新冠町役場
新冠ほくと園
横山運輸
新冠町社会福祉協議会

新冠小学校の生徒は感染予防のため社協へ直接募金箱を持参して募金協力していただきました。たくさんのご協力ありがとうございました。



令和3年度募金結果

各種募金	金額(円)
戸別募金	531,700
学校募金	23,029
店頭募金箱	29,850
街頭募金	4,571
法人募金・個人大口募金	361,555
職域募金	57,474
物品販売	70,600
その他	31,750
募金総額	1,110,529

♪ 幸せのおすそ分け♪ チャレンジ募金

新冠ほくと園・ふくろう会・ゆーあい天馬 の皆さまに協力をいただきました

新冠町共同募金委員会では、何か良いことがあった時や目標が達成できた時など、自身の幸せをおすそ分けする仕組みとしてチャレンジ募金の取組を実施しています。令和3年度は新冠町社協の職員と役員の他、新冠ほくと園、ふくろう会おうるの郷、ゆーあい天馬、申込のあった町民、合計51名で取組みました。一部ですがチャレンジ募金の結果をご紹介します。
ご協力いただきました皆さまありがとうございました。

令和3年度チャレンジ募金実績

57,474円

募金期間中にプロポーズする！
OKなら1,000円募金します！
結 果 → OKで**1,000円の募金！**



食材を無駄にしない工夫！
1回につき50円の募金
結 果 → **1,000円の募金！**



自治会の掃除を頑張ります！
達成できたら1,000円募金します！
結 果 → **1,000円の募金！**



健康のためにラジオ体操！
1回につき50円の募金
結 果 → **1,000円の募金！**



15分×2セットの運動をする！
1日につき100円の募金
結 果 → **3,000円の募金！**



JRAのレースで勝ったら募金！
1勝につき1,000円募金します！
結 果 → **2,000円の募金！**



小説を読破する！
読んだ冊数×200円
結 果 → **1,400円の募金！**



運動や休肝日を作り健康になる！
日数×100円募金します！
結 果 → **500円の募金！**



野菜を食べた回数を募金！
1回につき10円
結 果 → **2,120円の募金！**



栄養を心がけたお弁当作り！
1食につき50円の募金
結 果 → **1,000円の募金！**



一緒に取り組む仲間を募集しています。

このチャレンジ募金によって集められた募金は赤い羽根共同募金として北海道や新冠町の福祉のために使用されます。この一人ひとりのおすそ分けが積み重なることで大きな募金となり地域福祉に還元されます。令和4年度のチャレンジ募金を一緒に取組んでいただける方は事務局までお問合せ下さい。

⇒ ⇒ 集められた募金の使途については次のページ ⇒ ⇒

赤い羽根共同募金のあれこれ

Q. 赤い羽根共同募金のはじまりは？

A. 戦後間もない頃から始まりました！

昭和22年に被災した福祉施設を中心に支援が行われ、その後、社会福祉法に基づき地域福祉の推進のために活用される歴史ある募金運動となっています。

Q. 共同募金のしくみは？

A. 必要な使い道を定めて寄付を募る「計画募金」となっています。

地域の福祉団体から翌年の助成申請を助成し、使い道の計画を立ててから募金活動を行う「計画募金」となっています。令和3年度の目標額900,000円の達成に向けて取り組んだ結果、**1,110,529円**の実績となりました。目標額を越えた分については新冠町内の福祉事業に還元されることとなっています。配分の一覧は下記のとおりです。

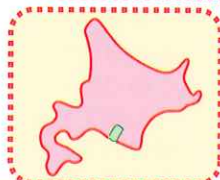
日高管内へ2.6%

日高管内の各町の募金をまとめて、それを管内地域で活動している福祉団体へ助成しています。

Q. 災害が起きた時の募金の仕組みはある？

A. 「災害等準備金」という仕組みがあります。

北海道共同募金会が災害時に備えている基金で、北海道に集まった募金額の約3%を積み立てています。災害がなく3年が経過した場合は取崩を行い、車輛や機器といった北海道全体の福祉のために還元される仕組みとなっています。新冠町は過去に行事用テントや移送サービス事業で使う車椅子対応の福祉車輛の助成を受けています。また、激甚災害が発生した場合は災害義援金として全国から被災地への支援を行っています。



全道各地の募金を取りまとめ、福祉車両や福祉施設の機器購入などの助成申請に充てられます。

北海道全体へ23.3%

新冠町も、過去に車両や施設の機器、行事用テントなどが助成されています。

北海道内・・・259,000円

新冠町内・・・822,729円

日高管内・・・28,800円

新冠町内へ74.1%

小地域ネットワーク事業



見守り活動や地域内での助け合い活動といった取組に申請のあった自治会へ助成しており、安心安全な地域づくりに役立てられています。

100,000円

地域交流事業



おうるの郷やゆーあい天馬、新冠ほくと園で開催される夏祭り等の地域交流事業に助成しています。

120,000円

心配ごとと面接相談

生活上での困りごとを相談できる機会として年6回の偶数月に心配ごとと面接相談所を開設しています。
開設場所：社会福祉協議会



30,000円

杖・アイスピック提供事業

歩くのが大変な方へ安全杖とアイスピックを無料で交付しています。※ひとり1本まで
交付場所：社会福祉協議会窓口
役場保健福祉課窓口



8,729円

ひとり暮らしゆーあい会食会・年越会

毎年6月、12月に開催している会食会、年越会の財源に充てています。対象者は町内の75歳以上のひとり暮らしの約200名にご案内し概ね80名程度が参加されています。

6月会食会14万円
12月年越会17万円



310,000円

社協だより発行事業

年数回の社協だよりの発行費用に充てています。

200,000円

事務費(資材購入費など)

募金活動に係る資材や費用に充てています。



54,000円

赤い羽根共同募金運動に寄せられた募金は子どもからお年寄りまで幅広い事業に使われており、地域活性化に繋がっています。地域が活性化することで誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりとなりますので、今後とも赤い羽根共同募金運動のご協力をよろしくお願いいたします。

冠小・朝日小学校で福祉教育を実施しました

令和3年12月13日、14日の2日間で新冠小学校と朝日小学校の6年生を対象に総合学習の時間を利用して高齢者や障がいといった福祉について学習しました。車椅子体験はスポーツセンターの屋内で実施し、段差の昇り降りや狭い道、多目的トイレへの移乗、福祉車両のリフト体験等を行いました。高齢者疑似体験では、半身まひを想定し、布団からの起き上がりや重い荷物を持つての階段昇降、ペットボトルの開閉、自働具の活用等の体験を行いました。この学習を通して子ども達が福祉分野への興味関心を持つきっかけとなり、思いやりや人に寄り添うことのできる大人になってほしいと期待しています。



【今回の福祉学習を通じて感じたことを詩にまとめてくれました。】

「皆、同じ人間」

作：朝日小学校6年生

車椅子に乗っていても同じ人間
病気があったとしても同じ人間
障害があったとしても同じ人間
年が離れても同じ人間
皆命を持っている人間
皆が差別なく生きてほしい
皆が毎日楽しく生きてほしい
皆が幸せに生きてほしい

手足を失っても同じ人間
んな生き方をしても同じ人間
幸せでもそうでなくても同じ人間
体がうごかなくても同じ人間

皆が健康に生きてほしい
皆が毎日を元気に生きてほしい



悩み困りごととは心配ごとと面接相談所へ



健康

介護

家族

教育

財産

相続

その他

新冠町社会福祉協議会では町民の皆様のお悩みや困りごとについて専門の相談員による「心配ごとと面接相談所」を偶数月に開設しています。開設日については新聞折込や公共機関で広報していますので、ご相談のある方は来所または社会福祉協議会までご連絡下さい。



祝 白寿



新冠町社会福祉協議会では白寿を迎えられる方へ記念品を贈っています。令和3年度は3名の方々へささやかながらお祝いをさせていただきました。これからも末永く元気にお過ごしください。



上 井 千 三 様



長 濱 チ 工 様



松 井 富 士 子 様

歳末たすけあい 義援金の贈呈

一般社団法人室蘭建設業協会、日高建設協会様から歳末たすけあい義援金が北海道共同募金会日高地方共同募金委員会に寄せられ、令和3年12月27日当会鎌田会長より、社会福祉法人新冠ほくと園湯沼理事長へ贈呈しました。湯沼理事長からは「いただいた義援金はコロナ禍により帰省が難しい利用者のために使う予定となっているので、大変ありがたいと思っています」と寄付者へ感謝の言葉を述べていました。



コカ・コーラボトリング(株)からクリスマスプレゼント♪

令和3年12月14日、コカ・コーラボトリング(株)より一足早いクリスマスプレゼントとして、コカ・コーラ製品の寄贈がありました。この寄贈事業はコカ・コーラボトリング(株)の社会奉仕として平成17年から取り組まれており、新冠町へは17回目の寄贈となりました。寄贈品は新冠町内6福祉施設にお届けし、各施設から感謝の言葉が多く寄せられ、大変喜ばれていました。



第1回

～ 生活支援コーディネーター通信 ～

むすび



こちらでは生活支援コーディネーターが見聞きしたことを連載でお伝えしていきます。
第1回目は生活支援体制整備事業と生活支援コーディネーターの役割をご紹介します。

むすびの由来は？

新冠町社会福祉協議会は、「誰もがつながり、共に支え合い、安心して暮らせる福祉のまちにいかっぷ」を基本理念としています。そのため、住民、行政、社協、関係機関が「**つながり合い**」「**結び合い**」ながら、一緒に福祉の町づくりをしていくことを目標として結び合いから「むすび」とつけました。

生活支援体制整備事業とは？

地域住民が「**互いに助け合い支え合う活動**」を推進する取組

核家族化や少子高齢化によって地域のつながりが希薄化することで地域では様々な生活課題が増加しており、昔ながらの「向こう三軒両隣り」のような日々のつながりが求められます。

新冠町では地域住民同士がお互いに助け合い支え合うことで高齢になっても地域で安心して暮らしていけるように地域の活動をお助けしていきます。



生活支援コーディネーターの役割とは？

生活支援コーディネーターの仕事を一言でいうと「人と人をつなぐこと」です。
主な役割として以下のことを行います。

地域課題や社会
資源の把握

関係機関とネットワークを構築

サービスの開発

地域や関係団体等との調整

担い手の育成

情報の発信

課題とサービスの
マッチング



